

5学年部会の様子(12月一斉授業研究会)

単元名

国土の自然とともに生きる
～小田原市森林組合の取組～

本時では「どうしてSさんたちが50年で2000本もの木をきることが、森を守ることにつながるのだろう。」という学習問題を通して森林管理の意味を考える学習となった。ロイロノートのワークシートを用いることで子どもたちの多くが自分の考えと根拠を持ち、話し合いや学習に向かう姿が見られた。それぞれの個性が活かされた意見もあり、協働的に学ぶ姿や主体的な姿が感じられた。また、資料を自ら用意し、クラスに伝えようとする姿も見られた。

協議会では子どもたちが考えたいことと、学習問題のずれや本時のねらいと子どもたちがそれについてより考えられるよう教師の問いかけや返し、また、ねらいに迫るための社会的な視点などについて意見が出された。

